



第3号
令和2年6月30日
庄和すずらん幼稚園

保育随想

★ 元気があれば何でもできる！

先日、地域の園長会が開催されまして、それぞれに保育の形態や夏以降の行事の在り方について、園長先生方の思いを聞く機会になりました。私学ですから園の独自性が保証されている中で保育は進められておりますが、6月は正に手探りで、活動の在り方も進めてきました。自粛の緩和はされて来ましたが、まだまだ、感染のそれが無くなった訳ではありませんので、引き続きこれまでの手洗い、うがい、体温測定などの習慣を続けながらも、幼稚園教育の特質とも言える、子ども同士が育ちあう場面を取り除くことは、幼児教育が成り立たなくなってしまうので、言われている三密の距離感は保てないのです。この辺もご理解いただきながら、これからの活動や行事についてもご理解をいただきたく思います。地域では、毎年行われている市民体育祭も中止の連絡をいただきました。誰にも予測がつかない感染拡大や納まる流れに対応して行くことは難しいのですが、すべての方が思い通り、予定した通りの生活を望んで居る中で、それぞれが知恵を出して、この時期を生き抜いておられるのです。すずらん幼稚園の三つ目の教育目標にも掲げました、**生活を創造する！**ことは、何気ない毎日の生活、そして、いつもと違う生活の中にも喜びを見つけて生活する力を身に付けましょう！という願いなのですが、仕事が面白い！草花を見て庭や室内に飾る喜び！子ども達の話に和まされる！部屋の整理をして雰囲気を変えてみる！私の周りにも幾つかの喜びが見付かります。ある人は、元気のスイッチを持ちなさい！と言われました。自分のスイッチ一つで明るく世界が変わります。そんな気持ちで、今の自分を取り巻く環境を改めて見てみますと、今までと比べて行動の自由が制限されていることによる閉塞感は大いいかと思います。集団生活においても時間をかけて学び気付く経験が無いままにふた月が経過しておりますので、当然、私たち指導に当たるものとしても、段階を踏みながら、お仕着せにならないような配慮もって、一人ひとりに寄り添うことに心掛けております。また、子ども達の育ちを支援する立場からも、安全を意識するあまり経験させられる機会を失うことも、残念な事に成りますので、幼稚園といたしましては、出来るだけの安全には配慮しながらも、育ちの活動への挑戦をして参りたいと思います。今回のお泊り保育の実施につきまして年長組の保護者の全員の皆さま方から、ご参加の意思を頂戴いたしました。子ども達のエネルギーや伸びようとする意欲に答えて、十分に準備して精一杯の活動になるようにしたいと思います。子ども達の成長のスピードは大人たちの7倍とも言われます。私たちの役目は、安全な環境の中で意欲を育て、自ら活動の楽しさを見付ける生活を支援するところにあります。いろいろな判断の基準は分かれるところではありますが、日本を代表する起業家の方々が、異口同音にお話ししております。いろいろな困難に出会っても、**元気があればなんでも出来る！**こんな時期ですから元気な自分の掘り出しに努力致しましょう。身近に居てくれる子ども達を見習って！